

市長とランチミーティング②

学力向上、意識した生活モラルを！

第2回「市長とランチミーティング」が8月16日(月)に「国際交流員と石垣を良くする会」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 本日はご出席いただきありがとうございます。石垣の子ども達の学力を向上させていきたいと思っています。また、石垣の子ども達が将来、石垣を旅立って行く場合、どこに行っても勝負できる状況をつく

つていきたいと考えています。皆さんの知恵やアイデアをお聞かせください。

小学校段階でしっかりとした教育を



会員 先日、日本経済新聞に全国学力調査の結果で「沖縄 全教科で平均下回る」と報道されました。こういう記事が出ることは沖縄県の子ども達にとつて非常に不幸なことです。この現状を皆さんがどのくらい深刻に受け止めているか、知るために市に質問状を出しました。仕事で基本的なミスをする原因は教育にあり、あらためて勉強は大事だと気づきました。市長はなぜ、勉強は必要だと思えますか。

中山市長 常識の範囲の中で普通に社会生活を営むためにはルールを遵守する、そういう意味においては学習し、知識を身に



つけるために勉強は必要だと思えます。また、生きていくためにどのレベルまで知識を身につけるか、どの分野の情報を収集するかということが大事になります。この点は何のために勉強するのかという判断だと思えます。

会員 勉強は学習能力を身につけるためのトレーニングの場だと思えます。石垣に来て驚いたのは、中学生、高校生で分数の計算ができない生徒が多いま

す。学校の成績の良い生徒でも分数の計算ができない。これは、小学校段階での教育がおざなりになっているということですね。石垣の子どもの教育における原因は小学校にあると思います。そこで、小学校でどういうことをやっているのか、抜き打ち的に授業に参加し、調査することができそうですか。

中山市長 授業参観という点で行って観ることは可能だと思います。

会員 小学校段階で、きちっと再教育させるような努力が必要だと思えます。本土でも公教育自体が学力を上げていくのは限界があります。東京都杉並区、港区は塾を学校に取り入れて民間教育と公教育が連携しています。このような教育の社会的分業として新しいシステムを構築していかねばいけないのではないかと思います。より高いレベルの教育は公教育では限界があり、いわゆる「ふきこぼれ」の生徒を支援する教育機関が大事だと思えます。学校に民間教育が必要という認識はありますか。

中山市長 「ふきこぼれ」の部分をどうするかということではなくて、学力において点数の低い子ども達をどうやって底上げしていくか、が公的な課題だと考えており、小学校教育を大前提にどうするかと考えることが公教育の役目だと思えます。

会員 その方策ですね。いろいろ

市長とランチミーティング

中山市長 学校教育に対する考え方を提案することはできると思います。教育委員会が統轄している学校側に対して市長の判断で学校のあり方自体を変えていくことは現実的に難しい状況です。教育委員会と話し合っていく中で方向性を示していけば可能だと思います。

退職教員の活用を

会員 退職教員が学力向上の姿勢に立ち、自宅を開放したり、公民館を活用して自分の周りの子ども達を教えるだけでもいいぶん効果があると思います。お金のかからないかたちで、いかにこの島が良くなるかというところで、この豊かで魅力あふれる石垣島です。これから、これから移住してきます。将来、入社試験をした場合、石垣の人が勝てる能力が必要です。学力という点で大所高所的にこの島のビジョンを決める人を教員がつくらないと少々危ういと思います。

大人が勉強する姿を見せよう

会員 私は市立図書館2階で放

送大学のビデオの貸出、入試説明等を行っています。全島を巻き込んで大人の教育機関をつくることによって勉強することが、いかに楽しいか、ということとを広めたい。そのためにサテライト誘致期成会を設立し、石垣島に放送大学のサテライトスペースを作ってもらおうと活動しています。もし、実現したら学力問題が低迷している起爆剤になります。子どもに勉強をさせるためには、言葉ではなく、大人が勉強する姿を子ども達に見せることが大切です。この島には経歴が豊かで有能な人材が



多くいます。このような人材を集結して、この島のより良い未来のために私達は活動していきたいと思います。市議会、教育委員会に反映させて、この状況を回復していただきたいと思います。

環境にやさしいまちづくり、観光立市モラルの向上へ

会員 ハワイ州オアフ島では2030年までに70%をクリーンエネルギーに変えるプロジェクトが進んでいます。石垣島は、たばこのポイ捨てや犬の糞、無断廃棄が多い。観光立市なので、市民の意識を変えていかなければいけないと思います。環境に取り組んでいるというピーアールをもっとやってほしい。モラルが低くて学力だけ高いということはあり得ません。学力を近々の短期的課題として踏まえ、中長期的にモラルを上げていくことが遠回りのようだけれども、学力を上げていく近道ではないだろうかと思います。

中山市長 今の話はご提言として受け止めます。今日、皆さんからありました意見は私の考えている方向性と一緒です。これをどういうかたちで実施していくかは、もう少し詰めていくことが必要です。学力向上は待ったなしの状態です。その危機感を学校、地域、PTAの中で話していきたいと考えています。教

育委員会と民間教育については直接、教育現場に介入できませんが、全体的な考え方の方向づけはできます。教育長、教育委員長に話しながら実施の方向を具体策として打ち出していく時期かと思っています。ゴミ捨てにおけるモラルについても考え方は一緒です。みんなでゴミ拾い活動をとおしてポイ捨てをしないよう分かち合ってもらおう状況をつくりたいと思います。皆さんからありました提言はタイムリングをみながら市政に反映させていきます。今日はいろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。

